

ふうけい 石の中の風景



先日、魚津市の片貝川へ行ったときに、おもしろい模様の石を見つけました。まるで、美しい富山の海や山の風景が閉じ込められたように見えませんか？想像力豊かな方なら、これらの石の中に、もっと別の風景を見出されることでしょう。

これらの石は、火山灰が堆積してできた流紋岩質の凝灰岩です。美しい縞や波模様は、鉄分を含んだ水がしみこみ、石のすき間に沈着してできた二次的な模様です。

このように風景が閉じ込められたような石は「風景石」とも呼ばれ、愛好家がたくさんいます。風景石には、二酸化マンガンの樹状結晶が作る草原のような風景のものもあり、多種多様な風景石の世界にはまるとなかなか抜け出せないようです。あなたも風景石の世界をのぞいてみませんか？片貝川以外にも、富山県の東部の川や海岸で時々見つけることができますよ。



とぎとぎ石の割れ目に見られる二酸化マンガンの樹状結晶。植物化石と間違われることが多い。通称しのぶ石。石の横幅約5 cm。

(岩石担当 増渕佳子)